

「建築士の日」

親子体験学習 ～いろいろなものをタイルでリフォームしてみよう～

県青年委員会
鹿角建築士会 青年委員会

今年の7月1日「建築士の日」は、二級建築士の学科試験というとても良い日に重なったため、七夕の日の7月7日(土曜日)に、建築士の仕事の認知度が向上することを祈りつつ、青年委員有志により親子体験学習を開催しました。

鹿角建築士会青年委員会が企画と準備、そして当日の運営を各支部有志と協力し、コースター用の杉板と既製品のフォトフレーム、様々な形と色のモザイクタイルを用意し、モザイクタイルの配置をデザインし、タイル用接着剤で貼り付けてリフォームするという作業を親子で体験していただきました。青年委員は作業手順の説明のみに徹底し、作業中の手伝いを極力せずに、デザインから貼付け完了までを親子で出来るように企画しました。



イベントを開始したところ、親子で沢山のモザイクタイルの中からいくつかを選び、コースターとフォトフレームの表面に並べてデザインしていく工程は意外と大変で、完成までの作業時間は30分程度かかりました。なかなか作業台が空かない時間帯もありましたが、与えられたものと少ない時間の範囲で考え抜いた力作に、参加された皆様はとても満足されていました。当日は、50組限定で用意をしましたが、多数の親子連れに恵まれ、午後3時頃には選べるだけのカラフルなモザイクタイルが少なくなり、3組を残し親子体験学習を終了しました。

今回、親子でデザインから完成に至る工程をしっかりと踏むことで、規模は違っても、建築士が普段から携わる企画、設計、施工、完成という大変な作業を感じていただけたと思います。

